

血液腫瘍内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、悪性リンパ腫に対して自家造血幹細胞移植を施行した方の中で低ガンマグロブリン血症をどのくらいのかたが発症するのかを調べることを主な目的としています。これらを調べることにより、感染症の予防につながり、安全に自家造血幹細胞移植を施行することができます。

このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 悪性リンパ腫に対する自家造血幹細胞移植後の低ガンマグロブリン血症の検討

《研究機関名》 関西医科大学附属病院

《研究責任者》 中谷 綾 関西医科大学総合医療センター血液腫瘍内科・診療講師

《研究の目的》 悪性リンパ腫に対する自家造血幹細胞移植後に低ガンマグロブリン血症が遷延する実態を解明する。

《研究期間》 承認日～2021年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

2006年8月1日から2018年9月30日の間に悪性リンパ腫と診断され、自家造血幹細胞移植を施行した患者さん

●方法

カルテの内容を使用します。具体的には、年齢、性別、既往歴、検査データ、治療内容、治療効果、感染症の有無、IgG値、診断日、再発日、転帰です。

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《個人情報について》

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

《利益相反について》

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

〒570-8507 大阪府守口市文園町 10-15

関西医科大学総合医療センター 内科学第一講座・診療講師 中谷 綾

電話（病院代表） 06-6992-1001